



題字は松井岳洋

No. 409
平成 23年 9月

発行
財団法人日本詩吟学院岳風会 認可
碩心会
発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

大震災・頑張ろう！

副会長兼青少年部長 高橋 岳之

3月11日から一・二週間は、涙も出ませんでした。それを過ぎたら、ちよつとの事でも涙がこぼれましたが、こぼれる涙も少しづつ

変ってきました。悲しみからガンバレの、そして自分もガンバルの勇気をもらった涙に・・・今は言葉の端から受けとれるやさしい事、ありがたい事に涙がこぼれてきます。



幸せだから笑うんではなく、笑うから幸せが来ると思いたいです。私達があげられる元気は一瞬でしかありません、この元気を本物の元気にしていただけるようエールを送りつづけたと思います。

碩心会75周年記念吟詠大会の構成吟も仮題ではありますが、「吟声よとどけ！笑顔を見せて」と決まり、練習に取り組む迄の進行状

況です。大きい声、強い吟声でエールを送っていききたいものです。

さて、8月に碩心会のボランティア活動の一環として葉山地区長の企画で、葉山ダイケアへの慰問に青少年の2名が夏休み中とのことで参加出来ました。青少年の参加は評判も良く、これまでも何回か参加することがあり、自発的な参加でありがたく思います。人に喜んでもらうこと、人の為に頑張ること、それが自分出来ることの一つじゃないかと思ってくれることを期待したいです。

3名から5名に増えた青少年ですが、中学・高校になると部活との調整が大変な様です。75周年記念大会には、青少年の発表のコーナーもあります。皆様の応援、増員のご協力をよろしくお願いいたします。



“みんな”で増やそう新会員

行事予定

詩吟体験教室 *Let's SHIGI~NI*

日時 10月15日(土) 午後1時~3時

場所 葉山町立図書館二階ホール

神静地区吟道講座

日時 10月22日(土) 開場午前9時30分

場所 小田原市民文化会館

葉山町詩吟詩舞連盟文化祭

日時 10月23日(日) 午後1時~2時30分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

鎌倉市詩吟詩舞連盟秋季大会

日時 10月30日(日) 開場午前9時30分

場所 レイ・ウエル鎌倉

逗子市文化祭詩吟詩舞発表大会

日時 11月13日(日) 開場午前9時20分

場所 逗子なぎさホール

第4回相州岳風連合吟詠大会

日時 11月27日(日)

場所 葉山町福祉文化会館ホール

冠称授与 (平成23年7月1日付)

宗 佑 渡辺 岳雲 石月 岳翹

田中 岳明 白井 岳照

水 上 岳昌

二代理事長 松井岳洋先生

7月23・24日の両日、総本部夏季吟道大学講座が日本教育会館で開催され、木部理事長から標記講話がありました。松井先生を話すには韻読について話さなければなりません。

教本の中に韻読が基本になっているものが沢山あります。松井先生は渡邊岳神先生の後を継いで昭和55年6月7日第二代理事長になられ、昭和63年6月11日退任、明治37年1月30日生、平成3年3月1日没されました。理事長職は大変な激職で、健康を理由にお辞めになった方々も多く、松井先生も精魂つきてお辞めになりました。

先生は書の大家で許証などお書きになり、また岳風先生の発行文書を何ミリ角で筆書等で岳風先生を助けられました。

物のない時代でしたので、先生は朝5時起きで諏訪まで鶏を抱えて行かれ、鶏舎を自ら作って岳風先生に卵を食べて頂きました。当時は松井篋風でしたので篋風鶏舎と名付けられ、その後鶏も増え卵も増え幾ら岳風先生でも朝から晩まで卵を食べることが出来ず近所に配ったが、今では卵をもらったと言う方は殆どおられません。時の流れを感じます。松井先生は斯様にやさしい心の持主でした。

渡邊先生の許証の筆耕をされ、バラバラな

面もあり間に合わなくて大変苦勞される等もありましたが素晴らしい先生でした。

先生は逗子にお住まいで、逗子の海岸を毎日少なくとも2ヶ所駆足され最後まで続けられました。開講式で「朗詠」を吟じましたが、これは新田先生から詩を頂いて渡邊先生から松井先生に符付けをと言われ、ぎりぎりまで逗子海岸で稽古されて作られたものです。符付けの気迫を感じてもらいたい。何事にも真剣に取組まれました。渡邊先生退任後、未だ復興期であり大変な苦難もありましたが、一生懸命努めて頂き、その間に韻読という調子を磨かれました。

韻読は大野狐山先生がお近くにお住まいで作者が朗読するためのものでした。それを松井先生が形を変えて完成されました。

岳風先生に聞いてもらったところ、「これは良い」と言われ、大野先生が新しく作詩されると符付けされ発表されました。教本では「母の心」渡邊先生の頃には「白絹の挽歌に和す」も載っていました。

大野狐山先生の詩は正確には漢詩とは言えないが、漢詩を使った吟詠詩ということで語調の整わないこともあるが韻読調にすれば十分できる旨を教えられました。松井先生の哀愁ある吟詠に合わせて「白絹の挽歌に和す」を練習し先生を偲びました。 高見 湘岳

夏季吟道講座

8月21日(日)第14回頌心会夏季吟道講座が、葉山町福祉文化会館大会議室に於いて開催され10名の会員が出席しました。

第一講、和歌(上村岳章副会長) 第二講、漢詩(加藤岳洵顧問) 第三講、近代詩(内山岳青会長) 第四講は新しい試みとして当日勉強した吟を発表して講師のコメント、指導を受ける機会が設けられ、多くの発表者が発表して会場が多いに盛り上がりました。 人見

神奈川岳風連合会吟道大会

滝の坂支部 今 井 俊 風

9月4日相模原市民会館ホールに於いて、標記大会が開催され、5ブロック・19の認可団体が参加し、日頃の研鑽の成果を発表しました。式典では「朗詠」を全員で大合吟し、午後の士気向上に繋がられました。連吟コンクールでは19団体の各代表が、更なる修練の成果を発表。大会は、独吟32、合吟35、構成吟では少年少女の自作の和歌、俳句の朗詠に満場の拍手喝采。大会は100のプログラムで纏められた企画の御苦勞が窺えました。審査講評を拝聴し、二句三息、素読による内容の研究等、良き勉強になりました。今後、健康第一、初心に還り吟道精進を誓う一日でした。

日本の心

去る7月3日に行われた「傾心会吟詠温習会」第8部立体吟で進行係を勤めた私は、事前に詩吟と空手の合わせ稽古に逗子の通称お猿畑（法性寺）境内にある日本武道空手協会「聖空会道場」を訪問し、道場主である花元浄一会長と空手指導者でもある奥様、太志君（高二）、奈津美さん（中二）のご家族そして三人の小学生にお会いしました。



道場内のキリツとした雰囲気がとても好もしく、三人の子供たちがはしゃぐ姿が微笑ましく可愛らしく映っていました。吟合わせが始まると道場内は一変し清寂な緊迫した空気の漂う中「空手吟」有友嘉岳、「拳技空手の歌」加藤岳洵の吟合わせが行われ衣擦れの音だけがピシッピシッと道内に響く中、演武と吟が一对となりその迫力と見事な出来栄えに感動！本番の成功は間違いないであろう事を確信しました。花元会長と太志君が組んで行う演舞を拝見しその立ち居振る舞い、態度等から武士道に

も通じるであろう精神を見せて頂いた思いがしました。それは勝敗云々ではなく己の心の修行、人格を磨き自分自身を高め相手に謙虚になることではないでしょうか。

今回の東日本大震災で被災された方々の規律正しい姿が外国人メディアを驚かせたとの報道を度々ニュース等で見聞きました。

日本人には古来より温かく、人を思い、自らを律する心があったと思います。伝統や文化、歴史を大切にして、品格ある「日本の心」をもって世界に貢献することが、今こそ求められていると思います。花元さん一家の空手に取組む姿勢を見ながらそんなことを考えさせられました。伊藤 岳光

紫舟流秋に舞う

創流50周年、二代目15年、記念吟剣詩舞道大会として標記大会が9月4日(日)、逗子文化プラザなぎさホールに於いて華やかに盛大に開催されました。

傾心会も招待吟詠、独吟、男性合吟9名、女性合吟20名、佳香会より招待吟舞として7名が参加し祝意を表しました。

日本の固有文化である詩吟、詩舞、剣舞等を伝承して行くことの素晴らしさ、そして重要性を感じ同時に若い方達に伝えて行くことの難しさを感じました。伊藤

詩吟と私

滝の坂支部 植草眞山

私が詩吟を始めたきっかけは、葉山町主催の「男の料理教室」だった。わが女房殿が私が死んだら困るでしょと言って「広報はやま」を見て勝手に申込んだ。生徒は定員23名、2年(年6回)通った。そこで上村岳章先生を存じ上げて傾心会に入会させて頂いた次第です。ところで料理の腕の方はさっぱり向上せず、詩吟入門と、テニス経験者を五人テニスの会に誘ったのが成果として残った。

女房殿はどうせ3年も続かないでしょと言った私の詩吟だが、おかげさまで丁度5年が経過した。この間色々経験させて頂いた。(1)まず声を出す楽しさを再認識した。詩吟のおかげで下手な歌謡曲、童謡の方も確かに音域が広がり、歌うのがより楽しくなった。(2)呼吸法の勉強も楽しく魅力的だ。

(3)一方傾心会の初吟会に初めて参加した時は懇親会の和氣藹々振りにびつくり仰天した。又、審査会をはじめ色々な大会も楽しい。吟ずることは難しい。しかし難しいからこそ面白く楽しい。心を込めて魂を込めて吟ずることが出来るように努力していきたいと思う。今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。

支部紹介

長柄支部の近況と特色

長柄支部 石 井 虹 岳

長柄支部は昭和43年5月に長柄会館で発足されましたが、平成20年5月に現在の葉桜会館に移りました。只今会員は男性3名女性4名で、火曜日の午前中、

加藤岳海先生のご指導の下、先ず各種連絡事項に始まり、口の体操、発声練習、吟道精神、吟道訓と進み、その後各行事に関する吟や新しい吟へと細かく丁寧な指導を頂き、皆なごやかに楽しく稽古に励んでおります。

又特色としましては、毎年11月の第一土・日に行われる葉桜の文化祭です。

昨年も加藤先生を始め相洋支部の方や葉桜にお住いで吟を習っている方の参加も頂き、吟詠歌謡、詩舞、和歌、俳句絶句と盛り沢山の1時間でした。その時の見学者の中の一人の方が入会して下さいました。今年も皆様の応援を頂き、一人でも多くの方が入会して下さいました。



ようこそレッツ詩吟体験教室!

普及部長 市川 岳穂

初参加の方と同時に、中伝クラスまでの現会員も多く参加されています。

同じレベルの方同士で気軽に相談したり笑い話や成功例、失敗例を話し合ったり、講師も個性的でそれぞれの長所を発揮され吟詠のプラス効果をお伝えしています。明るく朗らかに、詩吟の楽しさを体験できる時間を共有しませんか! 副部長の原田、星野と一緒に貴方をお迎えいたします。年間8回、13時から返子交流センターと葉山図書館、交代で開催しています。会場でお会いしましょう。

第31回碩心会吟詠温習会 会計報告

	科目	決算額(円)	摘要
収入の部	大会補助金	45,000	本会計より補助金
	出 吟 料	188,000	188名×1,000円
	懇 親 会	145,000	145名×1,000円
	来 賓 会 費	6,000	3名×2,000円
	雑 収 入	2,200	友人弁当代
	合 計	386,200	
支出の部	会 場 費	45,795	ホール、大会議室使用料、冷房費
	運 営 費	21,255	連吟コンクール、参加費
	事 務 費	56,231	事務用品費、印刷代、通信費
	保 険 料	4,862	傷害保険
	会 議 費	13,172	ジョイント関係打ち合わせ
	飲 食 代	201,302	弁当、飲み物代 他
	雑 費	41,795	謝礼、機材費、交通費
	合 計	386,200	

会員のうごき

*入会 (8月1日付)

- 229 伊藤洋子 (望風)
茅ヶ崎市菱沼1-20-7
☎ 0467-51-6596 紹介者 高見陽岳
- 230 小俣信子 (真澄)
逗子市久木8-12-7
☎ 046-873-4377 紹介者 高橋岳之

*退会

- 36 野田岳公 (相洋) 82 押山照岳 (平松)

*住所変更

- 215 馬場香澄 (一色)
新住所: 葉山町堀内1991-2-102

お詫び: 碩心会吟詠温習会連吟コンクール結果文中、2位八神とあるを小暮に訂正いたします。

編集後記

秋の七草の由来は万葉の歌人山上憶良の詠んだ次の和歌に由来しているといわれています。

「秋の野に 咲きたる花を
指折り かき数ふれば
七草の花」小さな秋の訪れ
を知らせてくれる秋の七草
1200年以上前の万葉の
世界に思いを馳せながら観
賞してみたいかがでし
うか。

広報部

23年9月1日現在	会 員 数
葉 山 地 区	1 1 7 名
逗 子 ・ 大 船 地 区	9 7 名
合 計	2 1 4 名